

# 令和元年度 指定管理業務 評価票

蜻蛉池公園	【指定管理者】 泉州緑化グループ	【指定期間】 平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
-------	---------------------	------------------------------------	--------------------------

【管理状況(概観)】

- ・施設の設置目的に沿い、適切に公園を運営した。
- 「地元企業ならではの」地域とのつながりを活用し、様々な取り組みを開催したことで、来園者数が増加している。
- ・施設の維持管理はおおむね良好で、トイレに一輪挿しを実施するなど細やかな心遣いが見られ、美観や良好な環境を来園者に提供した。
- ・利用者満足度調査の全体的な満足度については良好であり、キッチンカー導入の際に出店業者とメニューの検討を行うことで魅力向上に努め、また、大学生に売店の設営等に関して提案を受けたりと、地道な努力がうかがえる。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【蜻蛉池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【蜻蛉池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】 ○来園者数は、750,153人であった。(4月~11月)、前年比123,987人増加。 ○駐車場は、平日310円、土日祝510円に値下げを実施した。 (過去の料金H29・30:510~620円) ○テニスコートは、平日510円・土日祝820円、センターコートは、平日720円・土日祝1020円に値下げを実施した。 (過去の料金:H29・30テニスコート平日1030円・土日祝1240円、センターコート平日1440円・土日祝1730円) ○球技場は、平日1020円、土日祝2040円に値下げを実施した。 (過去の料金:H29・30平日2680円・土日祝3210円) ○上記料金改定の結果、駐車台数の増加、コート等は利用率が向上した。 駐車台数H30=64171台、H31=72590台 利用率:センターコートH30=19.9%、H31=24.3% その他のコートH30=21.9%、H31=24.0% 球技場:平日の利用率は若干向上。H30=0.9%、H31=1.1% ○レディスソフトテニススクール、健康テニススクールを平日に開催し、テニスコートの平日利用の促進を実施した。 ○スポーツハウスにてラケット・ボールの無料レンタル実施(30件利用有) ○駐車場の早期割引実施(5525台利用有) ○スポーツ施設利用者に駐車場割引券を進呈した。</p> <p>【自己評価】 ○提案通り、誰もが平等・自由楽しめる施設であるとの認識のもと、公平かつ公正なルール運用や管理運営に取り組むことができた。また、利用料金の値下げにより来園者数も増加し、有料施設等の稼働率も向上したため、S評価とした。</p>	S	<p>○府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営するとともに、提案以上の取り組みを実施した。 ○利用料金の値下げをおこなうことで、利用者の利便性向上を図ると共に、利用者数の増加につながったことは高く評価できる。</p>	S	<p>施設所管課評価は適正である。  大幅な利用料金の見直しにより利便性の向上と利用者数の増加につながったことは高く評価できる。</p>
	<p>収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)</p>	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p>	A	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p>	A	<p>施設所管課評価は適正である。</p>
	<p>トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)</p>	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p>	A	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p>	A	<p>施設所管課評価は適正である。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【蜻蛉池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	<p>草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)</p>	<p><b>【実績】</b>  <b>○主要植物管理</b>  (4月・5月)  ・花木園の管理、フジの花がら摘み、剪定を実施  ・水仙郷の管理、人力除草を実施  (6月・7月・8月・9月・10・11月)  ・花木園の管理  レンギョウ・ユキヤナギの透かし剪定を実施  レンギョウ・ユキヤナギ・フジに化成肥料施肥を実施  クチナシ・フヨウ・ベニバサモモにオルトラン粒剤株元散布による病害虫防除を実施  ・水仙郷の管理  スイセン植栽地侵食竹の間伐作業実施  (8月・9月・10・11月)  ・花木園の管理  サクラ・ウメ等にモンクローシャチホコの発生を確認、園路付近を重点的にトレボン(1200倍)の散布実施  フジの徒長枝の剪定を実施  ・水仙郷の管理  秋の植え付けのため、密になっている場所のスイセンの球根の堀上げ実施</p> <p><b>○草地管理</b>  ・除草A(7回):9回目完了・除草B(5回):5回目完了・除草C(4回):4回目完了・除草D(3回):3回目完了・除草E(2回):2回目完了・除草F(1回):1回目完了</p> <p><b>○花壇管理</b>  エントランス花壇:5/25、10/29、  大池沿い花壇:5/25、7/29、  センターコート花壇:6/5、10/30、  各所花壇:6/27、7/17、</p> <p><b>【自己評価】</b>  ○提案通り、全ての項目の実施に加え、計画以上の除草・芝刈を実施し、美観・利用共に良好な広場環境を来園者に提供できたため、A評価とした。</p>	A	<p>○管理品質に一部課題があり、改善が必要である。  ○草地管理について、除草をしているにも関わらず苦情が来ている状況は昨年度も同様のことがあった。苦情が来ないように細かいところまで除草するなど、管理水準を上げる努力が必要。  また、ふれあいの森の園路を草が覆い、歩くことが困難な状況が発生しており、改善が必要である。</p>	B	<p>施設所管課評価は適正である。</p> <p>公園利用に支障をきたさないように草地管理の管理水準の見直しが必要である。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【蜻蛉池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、管理水準を満足する。	A	施設所管課評価は適正である。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、管理水準を満足する。	A	施設所管課評価は適正である。
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、管理水準を満足する。	A	施設所管課評価は適正である。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【蜻蛉池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項どおり実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【蜻蛉池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】 ＜利用者アンケートより＞ ○公園の満足度では、「全体的な満足度」が1.7点であった。</p> <p>評価の高い項目では、 ○「樹木の手入れ」、「草刈り」、「花壇」、「バラ園やあじさい園」、「掃除」、「遊具の手入れ」、「職員の対応」が1.7点以上であった。 ○「売店などのサービス施設」は0.7点と低い評価となった。 ○「いつもきれい」「快適」「対応が丁寧」等、これらに類するお褒めの言葉を票数88通のうち、27通頂いた。</p> <p>○ご要望としては、「トイレの様式化」、「ゴミ箱の設置」、「ハクチョウの放鳥」等があった。</p> <p>【自己評価】 ○「ハクチョウの放鳥」については、ハクチョウ3羽の供与をうけることができた。 ○「全般的な満足度」が1.7であったため、S評価とした。</p>	S	公園の全体的な満足度は1.7と高い満足度を示す結果が得られた。	S	総合的な満足度は非常に良好であり、良好な管理運営であると認められる。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】 ＜前年度の利用者アンケートより＞ ○売店などのサービス施設が十分でないというアンケート結果に対しては、出店業者とメニューの再検討を行い、キッチンカーの導入の検討し出店を行った。また、芸術大学等の学生に売店の設営等の提案を依頼した。</p> <p>【自己評価】 ○売店のメニューを増やし、キッチンカーの導入もイベント開催時には実施できた。売店の設営等は学生の提案も頂けたので、徐々に改善できる見込みがあるので、A評価とした。</p>	A	前年度アンケートの結果を受けて、より満足度を向上させるよう取り組んでいる。	A	前年度のアンケート意見に対し、満足度向上のための取り組みを実施している。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【蜻蛉池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>○利用促進のプログラム・イベントは年間を通じて企画運営したが、特に利用者が少ない夏期の利用促進として、野原の広場において、真夏の最盛期に子供用のプールを設置し利用者に涼を提供し、日よけと簡単な着替えをできるようテントを設置し、ハンモックも設置し快適な環境を整えた。毎土日祝には、100人程度の利用があった。</p> <p>○「とんぼハウス」は年間を通じて無料休憩所としてオープンし、案内掲示板、パンフレット配架用ラックを設置、繁忙期には軽飲食等の提供を行い利用者の利便性に供した。</p> <p>○カートに遊び用具等を積み込み来園する利用者が多いので、管理事務所前ゲート車止め箇所を混雑するのでゲートをカート通行が容易に可能になるよう解放し、利用者の利便性に供した。</p> <p>○簡易型休憩施設(ベンチ・テーブルのセット)を150セット設置し、休憩やお弁当の飲食等が手軽に簡単にできるようにし、公園のイメージ向上も図った。</p> <p>○スポーツハウス及びとんぼハウスにて、Wi-Fiフリースポット化を実現した。</p> <p>○双眼鏡・タコ・バトミントンセット・絵本等の無料貸出を実施した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案以外の創意工夫を実施し、とんぼハウスの出店では利用者の利便性をはかり、快適性を確保してサービスの向上ができた。園内の通行動線上の改善箇所を細かく対応し、即効性のある改善行動を機敏に積極的に取り組めた。公園のイメージ向上も十分できたため、S評価とした。</p>	S	<p>○府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、管理・運営を実施し、提案した事項以外の業務をおこなった。</p> <p>○昨年度におこなった業務から発展させ新たな提案とする取り組みは評価できるが、ほぼ内容が同じであるため、もう少し違うチャレンジをして、公園の新たな魅力を作り発信することを期待する。</p>	A	施設所管課評価は適正である。
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <p>○収支は、概ね予定通りである。</p> <p>○支出は、計画通りに執行した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案通り、計画に従い執行できたため、A評価とした。</p>	A	事業実施計画に沿った適正な予算管理が出来ている。	A	適切な予算執行である。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】</p> <p>○最低限のポストとなる、責任者:1P、事務職員:1P、スポーツハウス:1P、巡視点検職員:2P、以上の人員を配置した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案した管理体制及び職員配置を行うことができたため、A評価とした。</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理体制及び職員体制を構築した。	A	
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	<p>【実績】</p> <p>○必置技術者として、一級造園施工管理技士、一級造園技能士を配置した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案した必置技術者等を配置できたため、A評価とした。</p>	A	必置義務者が適正に配置されている。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	<p>○労働災害について、該当が無かった。</p> <p>○公衆災害(人身)について、該当が無かった。</p> <p>○公衆災害(物損)について、該当が無かった。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○労働災害、公衆災害(人身)、公衆災害(物損)において処置不要であったため、A評価とした。</p>	A	安全衛生管理の計画と活動を体系的に実施し、怪我や健康被害が発生する恐れがある場所や作業における対応策もできていた。	A	適切に管理運営が行われている。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	<p>【実績】</p> <p>○全構成団体において、経営状況に問題は無く、収支計画もほぼ予定通りに実施した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○指定管理業務の継続影響は無いと判断できるため、A評価とした。</p>	A	法人全体の経営状況に大きな変化はなかった。	A	借入依存度が高い構成団体に注視する必要がある。